

## The End of the Book ? World Literature in a Postliterary Age

(書物の終わり？ポスト文学時代の世界文学)



ハーヴァード大学 教授

### David Damrosch

【ダムロッシュ教授略歴】

1980 イェール大学博士学位取得  
"Scripture and Fiction: Egypt, the Midrash, *Finnegans Wake*"  
1980-2009 コロンビア大学 (英文学・比較文学)  
2009- ハーヴァード大学比較文学科主任教授

今年、翻訳が日本でも刊行された『世界文学とは何か』(国書刊行会)で、その斬新な「世界文学」像とともに文学研究の新しい方法を提起した比較文学者(元アメリカ比較文学会会長)をお招きして、斜陽が叫ばれる文学世界のなかで、あらためて「世界文学」を語ることの意味についてお話いただくことになった。

書物の誕生から書物の終焉まで、長い人類の歴史を見据えながら、文学が文学の外部へと生き延びていくさまをめぐって、J・POPカルチャーの話題なども交えながらのお話になる。

日時 **2011年11月15日(火) 16:00~18:30**  
(開場15:30)

司会: 西 成彦 (立命館大学) / 奥 彩子 (共立女子大学)

会場 **立命館大学 衣笠キャンパス  
末川記念会館 第3会議室**

**参加費・事前申込不要**

**使用言語: 英語 (質疑応答のみ通訳あり)**

【主催】立命館大学国際言語文化研究所

【共催】日本比較文学会関西支部

【お問い合わせ】立命館大学国際言語文化研究所 Tel: 075-465-8164 E-mail: genbun@st.ritsumeikan.ac.jp